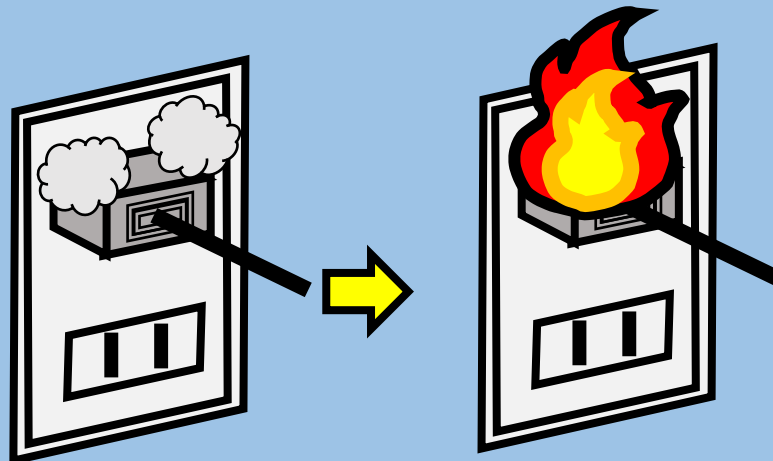
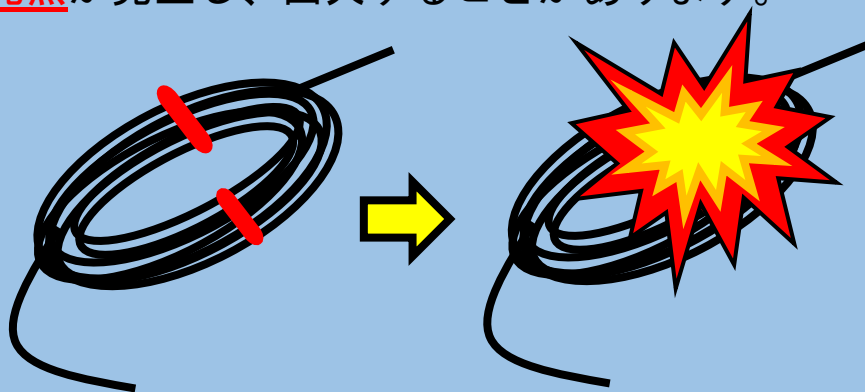


電気配線器具による火災を防ぎましょう！

コンセントに差し込んだ電源プラグの周辺に綿ぼこりや湿気などが付着することによって、差し込みプラグの刃の間に電流が流れ、火花放電を繰り返すトラッキング現象が発生し、出火することがあります。



電気器具をたこ足配線などで接続して電気配線の許容電流を超える場合や電気配線を束ねて使用することにより通電時の熱が放熱できない場合は、過負荷などによる発熱が発生し、出火することがあります。



電気器具は便利なものですが、使用者の取扱不注意や誤った使用方法から火災となる場合がありますので、電気器具を使用する際は、次のことに注意しましょう。

- ① 使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く。
- ② 差し込みプラグに付着したほこりなどは取り除く。
(特に家具、家電などの裏にあるコンセントに注意！)
- ③ 許容電流を超える電気製品をたこ足配線で接続しない。
- ④ 配線コードを束ねた状態で使用しない。
- ⑤ 損傷している配線コードは使用しない。

